

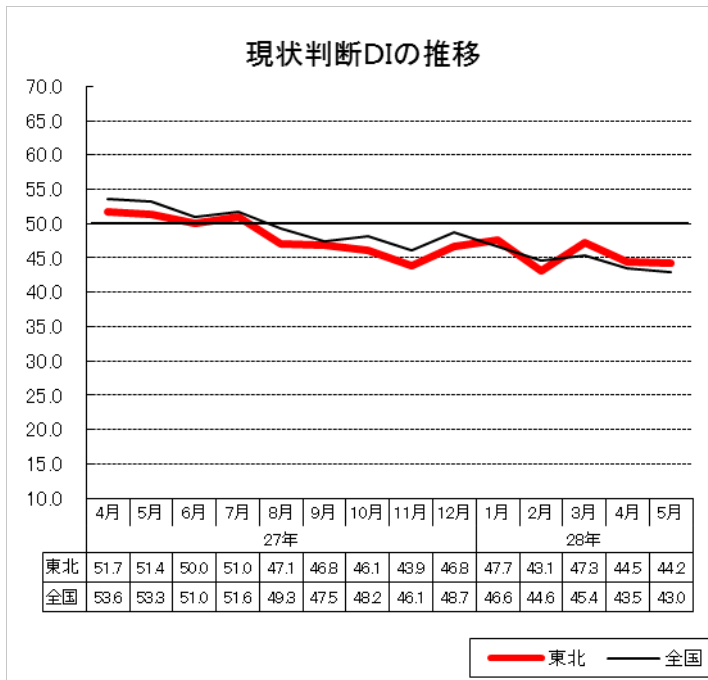
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 5 月東北分
(新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 5 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「44.2」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.3 ポイントとわずかに下回り、10か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



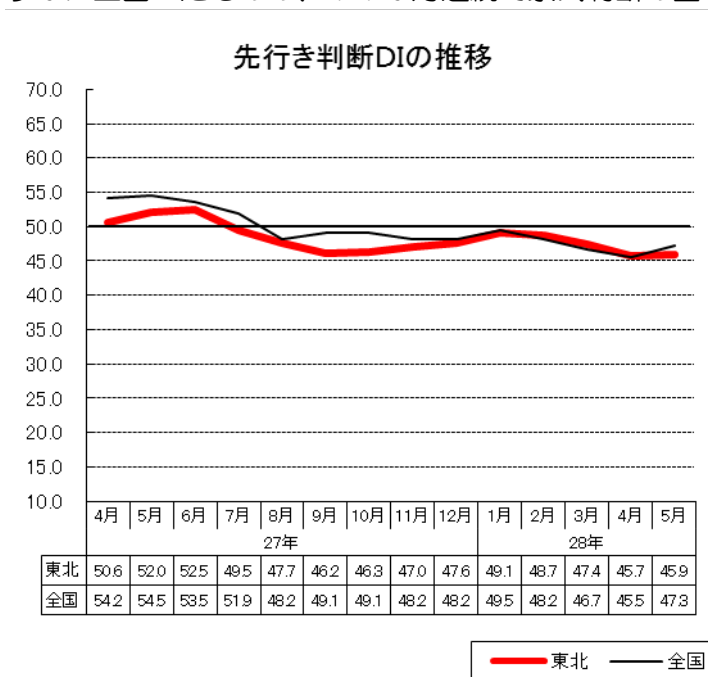
・家計動向…タクシー運転手、通信会社社員、その他専門店等で DI が前月を上回ったが、観光名所・遊園地、美容室、一般レストラン等の業種で DI が前月を下回った。DI は「42.4」（▲0.1）と 2 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 12 か月連続で下回った。

・企業動向…輸送業、その他企業の動向を把握する者、その他非製造業等で DI が前月を上回ったが、出版・印刷・同関連産業、食料品製造業、広告代理店等の業種で DI が前月を下回った。DI は「46.7」（▲0.2）と 2 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 2 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「51.3」（▲1.2）となり、2 か月ぶりに前月を下回ったが、基準値 50 を 2 か月連続で上回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「45.9」と4か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.2 ポイントとわずかに上回ったものの、11か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



・家計動向…住関連専門店、通信会社社員、美容室等で DI が前月を上回ったが、タクシー運転手、都市型ホテル、観光名所・遊園地等の業種で DI が前月を下回った。DI は「44.7」（▲0.1）と 3 か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 11 か月連続で下回った。

・企業動向…食料品製造業、出版・印刷・同関連産業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「48.0」（+1.1）と 2 か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 2 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「50.0」（+1.2）と、3 か月ぶりに前月を上回り、3 か月ぶりに基準値 50 に達した。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	27年									28年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
東北現状	51.7	51.4	50.0	51.0	47.1	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2
家計動向関連	51.6	53.0	48.6	48.7	46.2	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4
企業動向関連	53.0	46.4	55.4	56.1	47.5	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7
雇用関連(参考)	50.0	51.1	48.9	56.0	52.3	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3

(2) 先行き判断D I

	27年									28年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
東北先行き	50.6	52.0	52.5	49.5	47.7	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9
家計動向関連	50.7	52.8	51.0	49.3	46.9	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7
企業動向関連	51.2	50.0	56.5	48.2	49.4	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0
雇用関連(参考)	48.9	51.1	54.5	53.6	50.0	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 28 年 5 月 25 日～31 日

回答者数 190/210 名、回答率 90.5%(全国 1,858/2,050 名、90.6%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL: 022-225-1426 FAX: 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…年度をまたいで発注されている中央官庁の大型公共工事などは、受注者が確定してきている。

○「やや良くなっている」

（自動車整備業）…前年同期に比べて売上が15%増加している。また、来客数も増えている。

（輸送業）…荷主によって物量の増減があるものの、全体的な動きは良い状態である。

○「変わらない」

（商店街）…非常に変化の無いべた風の状態となっている。良くはなっていないが、悪くもなっていない、不思議な静けさである。

（カメラ販売店）…販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材の動きが鈍く、売上が伸びていない状況である。

（衣料品専門店）…今年のゴールデンウィークは日程が良くまとまっており、その分お金をたくさん使ってしまったのか、5月中旬以降は、現金払いが減ってカード払いが増えたり、よほどの目的がないと購入しないなどの動きが例年以上にみられている。

（家電量販店）…5月に入り、エアコンなどの季節商材は前年同月を上回っている。しかし、テレビなどのAV機器やパソコンなどはやや低調であり、前年比95%程度の販売量となっている。全体としては前年並みの推移となっているものの、客の買換え需要はやや抑え気味である。

（住関連専門店）…今月の売上のほとんどが低単価商材であり、単価、売上共に低いままで推移している。小規模店の宿命である。

（酒類専門店）…ゴールデンウィークは大きな祭も開催されるため期待をしていたが、予想以上に観光客が少なかった。その影響で飲食店への販売量が前年より落ち込んでおり、さらに物産館などのお土産販売にも大きく響いている。その後も全体的に動きが鈍く、熊本地震や経済不安の影響を顕著に実感した月となっている。

（高級レストラン）…今年の5月は例年と比較して来客数は増加したものの、客単価があまり伸びていない。客に外食をしたいという雰囲気はあるものの、食事の金額を抑えている様子がうかがえる。

（都市型ホテル）…披露宴が多いと一般宴会にも伸びがみられるが、披露宴が伸び悩み、一般宴会も今一つという状況が顕著にみられている。

（旅行代理店）…熊本地震により、気分的に旅行を控える傾向が若干ではあるがみられている。

（通信会社）…顧客との会話からは特に変化はみられていない。ただし、消費税増税の再延期が決まったので、今後は雰囲気が変わるかもしれない。

（電気機械器具製造業）…半導体製品全体の価格が徐々に下がっている。

（通信業）…投資よりもコストカットに重きがおかれている。

（飲食料品卸売業）…取引先の話では、来客数は依然として横ばいで推移しているが、1品単価、買上点数が1割程度減っている様子である。

（人材派遣会社）…求人数については堅調に推移している。今まで人材紹介の活用などコストをかけた採用をしてこなかった企業からも、募集に関して相談がきている状況である。

（職業安定所）…新規求人数が11か月ぶりに前年を下回っており、月間有効求人数の増加も6か月ぶりに前年比が2けたから1けたになるなど、求人数に減少感がでている。しかし、求職者数も微減傾向が継続し、有効求人倍率は9か月連続1.1倍台以上で推移していることから、景気が悪くなっているとまではいえない。

○「やや悪くなっている」

(百貨店) …来客数に変化はなく、食料品も堅調に推移している。しかし、宝飾品、時計などの高額商材の動きが鈍く、客単価が大幅に減少している。

(スーパー) …来客数が3か月前と比べて10%ほど落ち込んでいる。月前半、特にゴールデンウィークの天候不順の影響に伴う落ち込みが大きく、後半で取り戻せていない状態である。

(コンビニ) …例年ゴールデンウィーク明けは売上が落ち込むが、今年は連休が長かったせいか、大分お金を使ってしまった消費者が多いようである。日々の食費やその他を節約する傾向が強くみられている。

(一般レストラン) …ゴールデンウィークがあまり良くなかったことに加えて、連休後も回復せず最悪の状態となっている。後半に少し盛り返した感があるものの、全体的にみるとあまり良いとはいえない。

(観光型ホテル) …ゴールデンウィーク前後、特に連休後の来客数が悪い状態である。さらに、G7仙台財務大臣中央銀行総裁会議関連の影響で、開催期間とその前後数日間是一般の客が敬遠して来客数が減少している。

(タクシー運転手) …タクシーに乗る客が少ない。以前は年配者が通院のために利用していたが、現在は全くそのようなことがない状態である。

(遊園地) …ゴールデンウィークに天候が崩れ、その影響による落ち込みをばん回できておらず、来客数が前年を8%ほど下回っている。また、単価も微減傾向にある。

(競艇場) …ここ最近、来客数が急激に減少し始めており、売上についても、前月と比較すると少し下降気味になってきている。

(リフォーム業) …前年のエコポイントによる反動減が表れている。また、来年の消費税率10%への引上げに対して追い風が吹く気配も無いことから、前年に比べて問い合わせ件数が3割近く減少している。

(食料品製造業) …ゴールデンウィークの売上が前年を大きく下回っており、今月はそのことが全体的に大きく影響している。

(広告業協会) …5月は広告業界最大のイベントである全国広告連盟会議が地元で開催され、新聞社は増収につながったようである。しかし、テレビ局はあまり影響がなく、下旬には広告の空き枠が多くなっている。また、折込広告なども依然として回復はしていない。

(新聞社[求人広告]) …人手不足感が強まっている。業種や事業規模による差はあるものの、欠員補充の困難、人件費の上昇、事業計画の見直しなど、その影響は大きい。

○「悪くなっている」

(乗用車販売店) …熊本地震による自動車生産への影響、風害による納車前新車へのダメージ、大手自動車メーカーの燃費不正問題に伴う軽自動車の販売停止などが重なり、空前の販売量減少となっている。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(建設業) …今年度の大型公共工事の出件が始まっており、受注者が確定する案件が多数見込まれている。

○「やや良くなる」

(酒類販売店) …この先は六魂祭やねぶた祭りがあるため、景気は良くなるとみている。

(住関連専門店) …2~3か月先にはお盆になるため、現在よりは仏事関係の商品が売れるのではないかと期待している。問題は、高額商材が売れるかどうかというところである。

(高級レストラン) …東北の景気回復は首都圏と比べても半周遅れとなっている。そのため、この先は逆に少しずつ良くなっていくのではないかと。

(輸送業) …燃油が値上がり傾向にあるが、物量そのものは確保できるとみている。

○「変わらない」

(コンビニ) …気温の上昇に伴い来客数も伸びるため、現在の気温が続けば前年並みに売上が期待できる。

(衣料品専門店) …夏に向けて少なからず良くなるが、8月になればジャケットを脱ぎたいほどに暑くなるため、需要がなくなってしまふ。

(旅行代理店) …2～3か月先はちょうど夏休みであり個人旅行の時期となる。今のところ予約状況は悪くないが、この先、参議院選挙あるいは衆参両院同日選挙となれば、旅行を手控える客がかなり増えると思込まれる。そのため、若干先行きがみえないところがある。

(木材木製品製造業) …当面、住宅部材の価格低迷によって収益的に厳しい状況が続くとみている。

(電気機械器具製造業) …半導体製品の価格が下げ止まる様子がみられない。それが、身の回りの景気に直接影響している。

(司法書士) …低金利が続いているにもかかわらず、住宅着工件数は増加していない。

(人材派遣会社) …2017年4月の新卒採用において、特に中小企業が5月の時点で積極的に内定を出している。企業の雇用の意思は継続している。

(職業安定所) …求人の状態は減少傾向にあるものの、大きな落ち込みとまではいえない。また、現在のところ、企業の大規模な創業、及び、大規模な人員整理の情報はない。求職者数が微減していることで、求人倍率が1.1倍以上で高止まりしている状況であり、景気が悪化するというまでの印象はない。

○「やや悪くなる」

(百貨店) …夏場に向けて経済環境が良くなるような見通しは立っていない。むしろ、国政選挙やオリンピックなどは、街に出てショッピングをするにあたってはマイナス要因となる。また、前年同月にあった高額商材への消費の追い風はない。

(スーパー) …サミットにおいて世界経済の悪化、日本経済のデフレ化などの発表がされている。また、消費税増税の再延期がされるとのことで、消費マインドが萎縮している感がある。

(一般レストラン) …地元はこれからさくらんぼの時期であるが、例年よりも収穫時期が10日ほど早いと聞いている。そのため、ベストシーズンには収穫が終わってしまうため、農家は頭を抱えている。さくらんぼに関係している人が多い地域のため、この影響により景気は少し下がるとみている。

(都市型ホテル) …前月に引き続き客の動きが鈍い状態が続いており、今月も来客数の前年比が大幅に減少している。予約状況も伸び悩んでおり、はっきりとした好要因がどこにもみられない状況である。極端に落ち込んでいるわけではないが、明らかに予約が鈍り始めており、今後も低調に推移するものとみている。

(農林水産業) …取引先からはもち米の苗の出荷量が多いと聞いている。そのことから、今年産のもち米の価格が低下すると見込まれるため、もち米の作付けの多い当園に悪影響がでるものと危惧している。

(食料品製造業) …選挙があると、旅行や出張などの人の動きが鈍くなる。

(新聞社[求人広告]) …G7仙台財務大臣中央銀行総裁会議で、日本の景気浮揚策や、特に被災地の支援政策なども提案されなかったため、地元としては期待していただけに落胆も大きくなっている。この先、このパターンが続くとすれば、地元にとっても景気浮揚のきっかけを失ったことになるのではないかと。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上